



杉山校長からのメッセージ

まだ何者でもない10代をどのように生きるのか

武蔵高等学校中学校 平成31年度入学式より

武蔵高等学校中学校（東京都練馬区／校長 杉山剛士）では、2019年4月8日（月）中学及び高校の入学式が学園大講堂において挙行されました。新生武蔵を掲げこの春就任した杉山校長の式辞では、入学式に出席した中学1年生、高校1年生に向けて「**何者にでもなれるがまだ何者でもない、たった一度しかない武蔵の10代に心がけてほしい三つのこと**」についてメッセージが伝えられました。

「10代に心がけてほしい三つのこと」杉山剛士校長 式辞より

- 「自分が恵まれているという自覚とそのことへの感謝の気持ちを持って」
- 「人生をかけての志を持って」
- 「自ら調べ自ら考えよ」

武蔵には少人数ならではの、人生に刺激を与えてくれる先生方との出会いや、これから一生を共にする仲間たちとの出会いがある。ぜひ武蔵に吹いている素晴らしい風をしっかりとりえて、価値ある人生の基盤をつくってほしいと心から願っている。（式辞より 一部抜粋）

□ [杉山校長 式辞全文 \(PDF\)](#)



杉山 剛士（すぎやま たけし） 略歴

1957年生まれ。東京都出身。武蔵高等学校中学校卒業。

東京大学教育学部教育学科卒業。同大学院教育学研究科修士課程修了。専攻は教育社会学。

埼玉県教育局文教政策室長、埼玉県立熊谷西高等学校長、埼玉県教育局高校教育指導課長、埼玉県立浦和高等学校長を経て、2019年4月より武蔵高等学校中学校校長に就任。



—報道関係者問い合わせ先—

学校法人根津育英会武蔵学園 武蔵学園広報室 担当：齋藤（さいとう）・西（にし）

TEL：03-5984-4003 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵学園のあゆみと武蔵高等学校中学校

東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり、政財界で活躍した根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に我が国初の七年制高等学校である旧制武蔵高等学校を創立。戦後の学制改革により、「小学校を卒業してから大学に進むまでの自己形成期の教育」という原点に立ち戻り、1948 年に新制武蔵高等学校が発足、翌 1949 年に武蔵中学校を設置し、6 年間の一貫教育を行う。2000 年に高校からの編入を廃止し、完全中高一貫校となる。

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」、西武有楽町線「新桜台駅」、都営大江戸線「新江古田」からいずれも徒歩 5～7 分〕